

令和3年4月20日

職員の皆様へ

鳳凰会グループ
林 名誉会長

ワクチン接種後の感染防護について（所感）

業務お疲れ様です。

職員の全員がワクチン接種を完了したとしても、ワクチンが 100%の感染を抑えませんし、他人に 100%感染をさせないものでもありません。元の生活に戻れるのはまだ先の事です。ですので、職員全員がワクチン接種を終えた後でも、当グループは現在の感染防御を引き続き行い職務にあたりたいと考えます。

昨年からコロナ感染が始まり1年を超えました。

職員の皆様もコロナ感染対策等でかなり疲れがでていて、また感染状況への慣れも現れてきていると思います。ですが、私たち医療・介護従事者は患者様・入居者様の命を守るのが一つの使命です。

その為には自分がコロナにかからない事が第一です。

使命を忘れる事のないよう、いま一度、緊張を保って頂きたくお願い致します。

疲れは有りますが、疲れていても気をつけるしかありません。

状況への慣れはあってはいけません。

コロナウィルスは次から次へ変異をしています。

次の変異株の事も考えて、我々医療介護従事者は考え行動しなければなりません。

いま行っている感染防御対策は、コロナ変異株に対しての対策の基本でもあります。

基本的な感染防御が患者様の命を守る最も確実な手段であると理解して、基本的な感染防御の徹底を常に心がけ行動し、また習慣にして下さい下さい。

本当に大変ですが、皆様、よろしくお願い致します。

N501Y 変異は感染力が今までのコロナウィルスより 1.3~1.7 強いといわれ、また E484K 変異は現ワクチンが効きにくいと言われていています。

英国変異株(=N501Y 変異)は大阪を見てもかなり感染力が強いと確認出来ます。

東京も英国変異株が既に 30%を超えました。近く 70%を越えるでしょう。

当然、埼玉も同様に英国変異株が主流になると思われます。

幸い、英国変異株はファイザーのワクチンは効果があると報告がありました。

しかし、ワクチン接種を受けても 100%の感染を防ぐ訳ではない事を良く理解して下さい。

また、ワクチン接種の 6 ヶ月後の抗体は確認されていますが、そこから先の抗体確認はまだされていません。

何時までワクチンの効果があるかはまだわかりません。

また、ブラジル変異株のさらに変異株 (501Y. V3, P. 1) は英国変異株より感染力が強く、しかも若年層に強く感染しかつ重症化が強いと言われています。

ワクチンの効果の有無はわかりません。

残念ながら日本に既に入ってきています。

また、まだ日本には入ってきていませんが、カルフォルニア変異株の L452R 変異は感染力・重症化率も高く、現ワクチンの効果を 60%も弱くすると言われています。

残念ながら、今の検疫方法で日本への上陸防止は全く期待出来ません。

いずれカルフォルニア L452R 変異株も日本に入ってくるでしょう。

繰り返します。

国がどのような政策を行おうが、ワクチン接種を完了しようが、我々は基本的な感染防御の徹底を常に心がけ行動しまた習慣にして下さい。

また、当グループは現在の感染防御を引き続き行い職務にあたりたいと考えます。

よろしくお願い致します。

以上